

平成 25 年 11 月 14 日

11 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故から 2 年 8 ヶ月となりますが、今もなお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためて心よりお詫び申し上げます。

○ 本日、私からは 3 点お話しさせていただきます。

- まずは、発電所における主な安全対策の取り組み状況についてです。

フィルタベント設備について、7 号機で先月 22 日に本体の据付工事を開始し順調に工事を進めております。1, 5, 6 号機では、引き続き基礎工事ならびに、基礎に付帯する壁の工事など周辺工事を継続して実施しております。

6 号機については、工場における本体の製作が終盤に差し掛かり、今月末頃に発電所構内へ本体を搬入する予定です。

また、先月中旬までにコンクリートポンプ車 3 台と高所放水車 2 台を配備いたしました。

これらの車両により、原子炉建屋の破損等で、本設の注水ラインや消防車による使用済燃料プールの冷却ができなくなった場合に、建屋外部から使用済燃料プールへ直接注水することができます。さらに、燃料が損傷した際には、放射性物質の拡散を抑制

する機能も持ちます。これらの車両についても電源車や消防車と同様、いざという時、社員自らが確実に運転・操作できるよう、訓練を重ねてまいります。

また、現在、柏崎市側の海拔約 35mの高台に空冷式ガスタービン発電機車を2台配備しておりますが、さらなる電源の強化を目的に予備機としての3台目を、今月末を目途に配備する予定です。加えて、将来的には刈羽村側の高台へも発電設備を分散配置する計画としており、電源設備のさらなる信頼性の向上を図ってまいります。

安全対策工事につきましては、今後も着実に進めてまいります。

- 次に、柏崎刈羽地域防災支援プロジェクトチームの設置についてです。

現在、新潟県をはじめ各自治体において地域防災計画の見直し、策定が進められているところですが、必要な情報をご提供することが重要であると考え、このたび本店に柏崎刈羽地域防災支援プロジェクトチームを新設いたしました。このチームは、原子力・立地本部の副本部長である常務の姉川をプロジェクト責任者とした構成で、発電所においては原子力安全センター所長の新井を責任者として、自治体の皆さまとプロジェクトチームとのインターフェースを担い、取り組みを進めてまいります。

このような取り組みを通じて、少しでも自治体の皆さまのお役に立てればと考えている次第です。

- 最後に、発電所協力企業の方への柏崎警察署長からの感謝状の贈呈についてです。

先般、発電所構内の従事者登録窓口において、免許証の偽造が発見される事象がありましたが、この時に窓口業務に携わっていただいた協力企業の方2名に対し、昨日、柏崎警察署長より感謝状が贈呈されました。お二方へは私からも先般、感謝を申し上げさせていただいたところです。

このたびの行動を、発電所で働く方々の模範としながら、引き続き、厳正、適確な発電所の運営、管理に努めてまいります。

- 本日、私からは以上です。

以 上